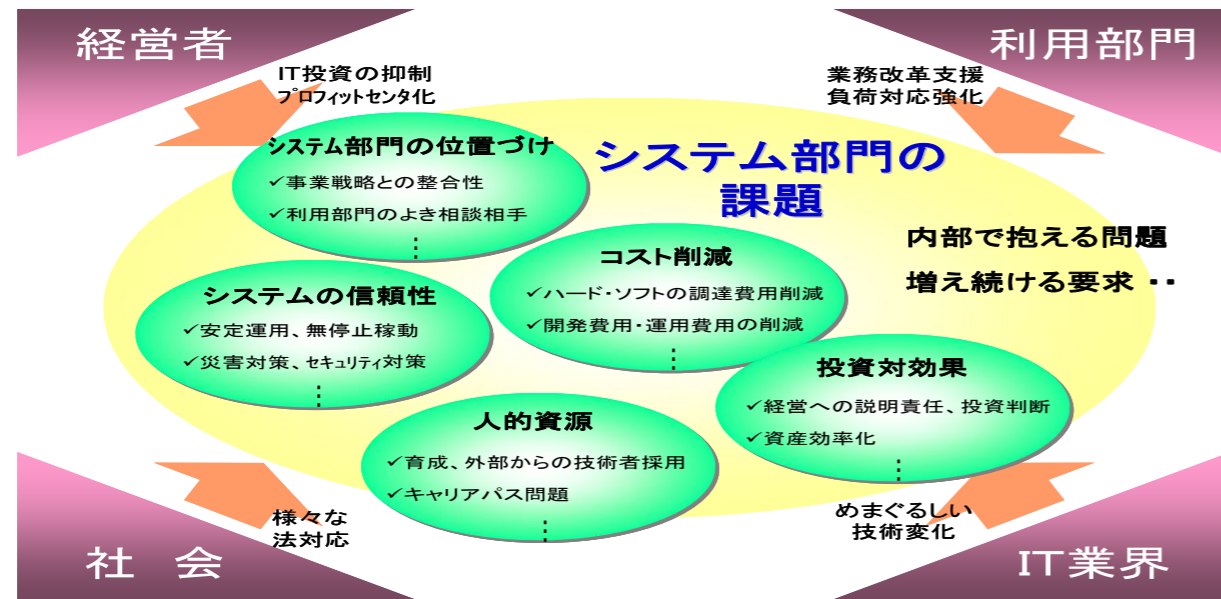


企業のITに対するマネジメント改革の入り口

— ITマネジメント診断 —

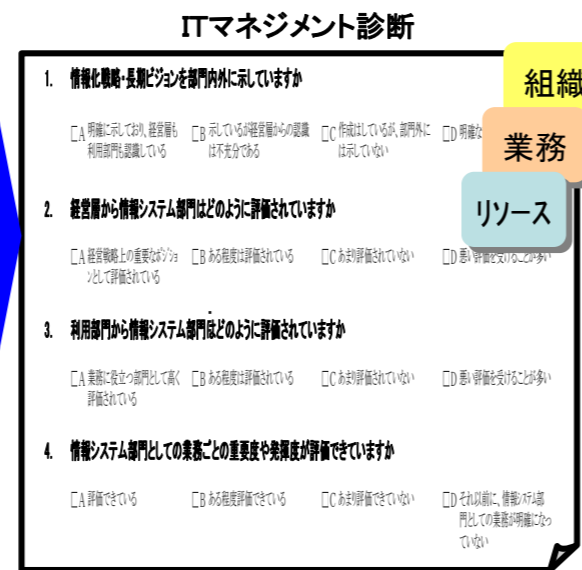
システム部門が抱える課題

現在、企業のシステム部門にはIT戦略立案から日常の運用業務にいたるまで、下図のような様々な課題が存在しており、これらの課題を克服し、その存在価値を内外に示す必要があります。



「ITマネジメント診断」とは

課題克服のためには、組織の「資源(リソース)」を使って「活動(業務機能)」の発揮度を高めることが重要であり、それによって“コスト低減”、“品質向上”、“IT有効活用度向上”の達成というシステム部門の果たすべき経営貢献が達成できると考えます。ITマネジメント診断は、活動の発揮度やリソースの活用度を測る質問から構成され、組織のパフォーマンス向上に向けた現状の課題を気づかせてくれる診断サービスです。



「ITマネジメント診断」の特長

I 多面的な診断が可能

総合評価、活動(業務機能)、資源(リソース)の3つの視点から貴社の現在の状況について多面的にコメント、ご提言いたします。また内部統制活動に関する質問にご回答の場合は、その課題についてもコメントさせていただきます。

II 豊富な実績をベースに業界平均等と比較可能

当社の長年にわたる様々な業種のお客様との関係から得られたデータをもとに、貴社の業種平均との比較を行い、貴社のポジショニング分析も行うことができます。

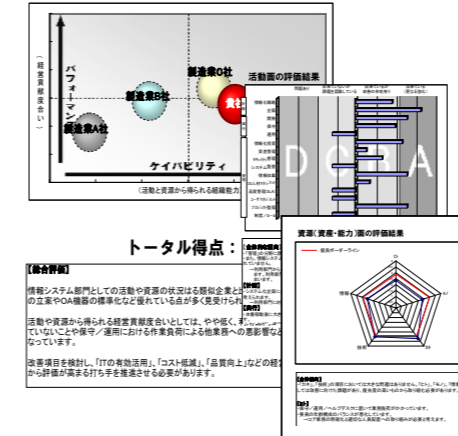
III 課題だけではなく課題に対する方向性も提示

診断結果は課題に対する方向性につきましても併せてご提示させていただきます。これにより貴社の次のアクションプランを明確にすることが可能となります。

診断結果イメージ

ITマネジメント診断レポート

〇×株式会社



診断結果は数値化し、レーダーチャート等によってビジュアルにわかりやすくご提示いたします。

活動(業務)とリソースの観点から、課題分析や強化ポイントについて、業界平均との比較も参考にしながら、コメントをさせていただきます。

当社の過去の事例から得られたノウハウも駆使して、貴社のお役に立てるご提言をいたします。

※診断結果によっては、より詳細な診断が可能となる個別テーマごとの診断サービスメニューも多数取り揃えておりますのでご活用下さい

診断の流れ

